

U.S. Indicators

米国 製造業部門の一段の加速を示す(14年10月ISM製造業景気指数)

発表日：2014年11月3日(月)

～米製造業は堅調さを維持、他国との製造業活動格差拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
13/10	56.6	61.3	60.8	54.3	52.5	54.1	51.5	55.5	57.0	55.5
13/11	57.0	63.4	62.4	55.4	50.5	53.3	54.0	52.5	59.5	55.0
13/12	56.5	64.4	61.7	55.8	47.0	53.7	51.5	53.5	55.0	55.0
14/01	51.3	51.2	54.8	52.3	44.0	54.3	48.0	60.5	54.5	53.5
14/02	53.2	54.5	48.2	52.3	52.5	58.5	52.0	60.0	53.5	53.5
14/03	53.7	55.1	55.9	51.1	52.5	54.0	57.5	59.0	55.5	54.5
14/04	54.9	55.1	55.7	54.7	53.0	55.9	55.5	56.5	57.0	58.0
14/05	55.4	56.9	61.0	52.8	53.0	53.2	52.5	60.0	56.5	54.5
14/06	55.3	58.9	60.0	52.8	53.0	51.9	48.0	58.0	54.5	57.0
14/07	57.1	63.4	61.2	58.2	48.5	54.1	49.5	59.5	53.0	52.0
14/08	59.0	66.7	64.5	58.1	52.0	53.9	52.5	58.0	55.0	56.0
14/09	56.6	60.0	64.6	54.6	51.5	52.2	47.0	59.5	53.5	53.0
14/10	59.0	65.8	64.8	55.5	52.5	56.2	53.0	53.5	51.5	54.5

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

ISM製造業景気指数 は59.0と前月比2.4% ポイント上昇

14年10月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、59.0と前月比+2.4%ポイント上昇し市場予想を上回った(市場予想中央値56.1、当社予想56.0)。米製造業部門の加速を示している。また、新規受注、生産が高い水準を維持しているうえ、全18業種中16業種で拡大しており、広がりを持った拡大となっている。以上のことから、米製造業は好調を維持していると判断される。他国との製造業活動格差は一段と拡大している。

構成項目では新規受注、生産、雇用、在庫、入荷遅延の全項目が上昇した。重要項目である新規受注、生産がともに高い水準となったほか、在庫に過剰感が乏しいこと等から、製造業部門が好調を維持する可能性が高いことを示している。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、新規受注(前月比+1.16%ポイント)、入荷遅延(前月比+0.80%ポイント)、在庫(前月比+0.2%ポイント)、雇用(前月比+0.18%ポイント)、生産(前月比+0.04%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+2.4%ポイント上昇した。

活動の拡大した業種は 16業種と広がりを伴った 拡大継続

活動の拡大した業種数は、全18業種中16業種(前月15業種)と、多くの業種で拡大しており、広がりを伴った業況の改善となっている。拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、プラスチック・ゴム、繊維、加工金属、その他製造業、一次金属、電気装置、同機器、同部品、非鉄、食品・飲料、タバコ、化学製品、アパレル、皮革、同製品、印刷、同関連支援、輸送機械、家具、同関連製品、紙製品、一般機械、コンピュータ

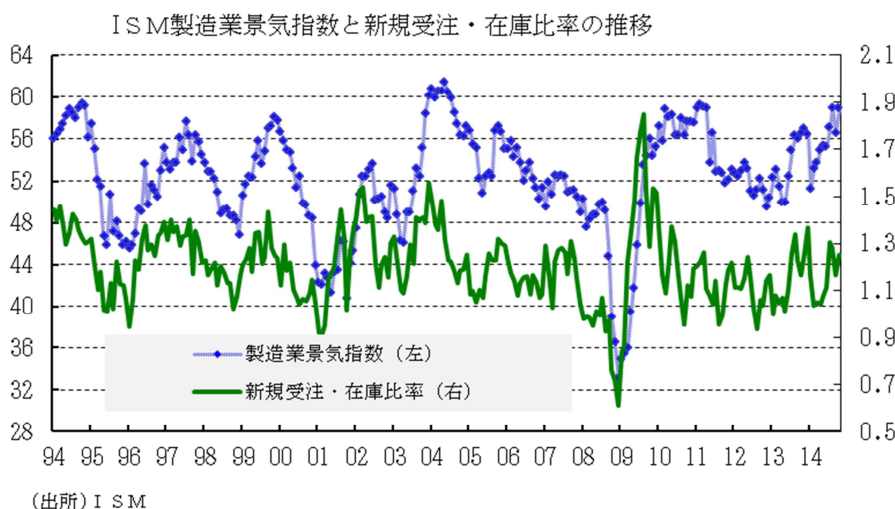
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

一・電子機器。一方、縮小した業種は、石油・石炭と1業種（前月3業種）にとどまった。木材製品は変わらずとなった。

（注）下線は拡大を続けた業種

今後のISM製造業景気指数は製造業部門の堅調さを示す水準で推移する見込み

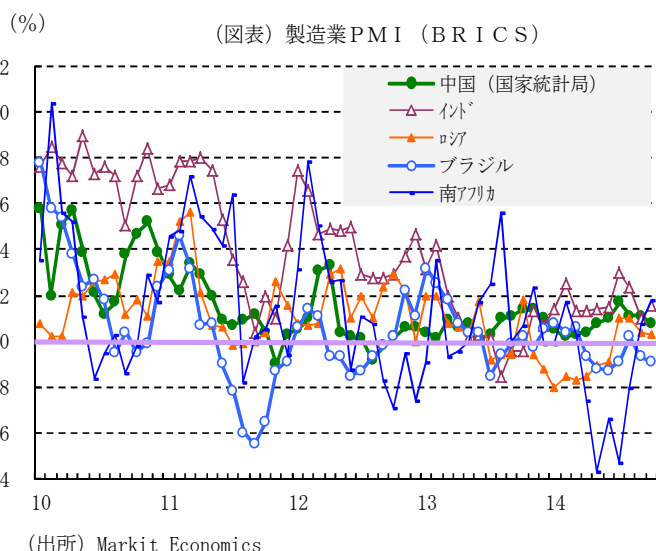
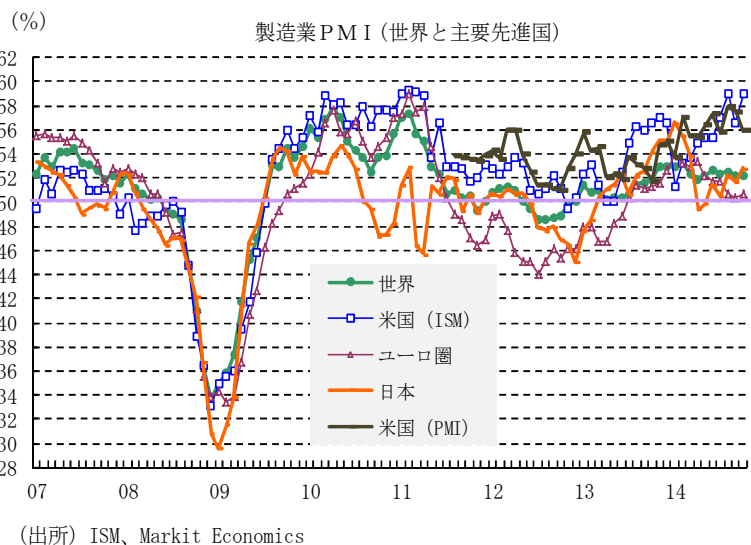
今後に関しては、ISM製造業景気指数は、個人消費を中心に緩やかな成長を維持する米国内需要などに下支えされ、製造業部門の堅調を示す水準で推移する公算が大きい。



10月の世界製造業PMIは前月と変わらず。23カ月連続で50を上回ったものの、水準は高くない

10月の世界製造業PMIは52.2（前月52.2）と前月比変わらずとなったが、23カ月連続で50を上回った。製造業部門の拡大傾向を示しているものの、新興国の弱さを主因に水準は低いままである。中国を含むBRICS諸国は持ち直しているが、以前と比べて勢いは弱い状態。

50を下回った国は、豪州、韓国、インドネシア、ブラジル、ノルウェーなど。一方、50を上回った国は、米国、日本、ユーロ圏、英国、カナダ、ロシア、中国（国有企業中心）、中国（中小企業中心）、インド、南アフリカ、ポーランド、スウェーデン、デンマーク、ハンガリー、トルコ、台湾、ベトナム、メキシコなど。ただし、中国、インドなどの水準は過去と比較して依然低い水準。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

輸出の拡大を示唆

上述のような環境のもとで、輸出受注D Iは、10月に51.5と前月比▲2.0%ポイント低下したが、拡大縮小の分岐点である50を23ヵ月連続で上回った。緩やかな世界景気の拡大等を背景に、輸出の増加持続が示唆されているものの、世界的な製造業活動の拡大モメンタムは弱く、輸出の伸びは抑制されよう。

各国の米国向け輸出は増加ペース鈍化も

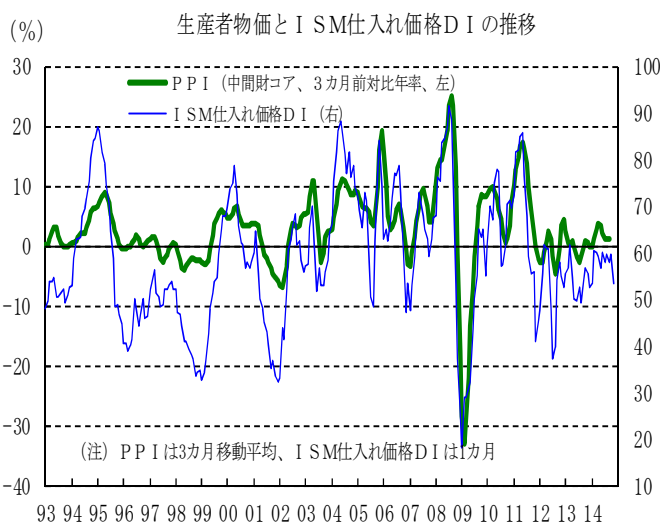
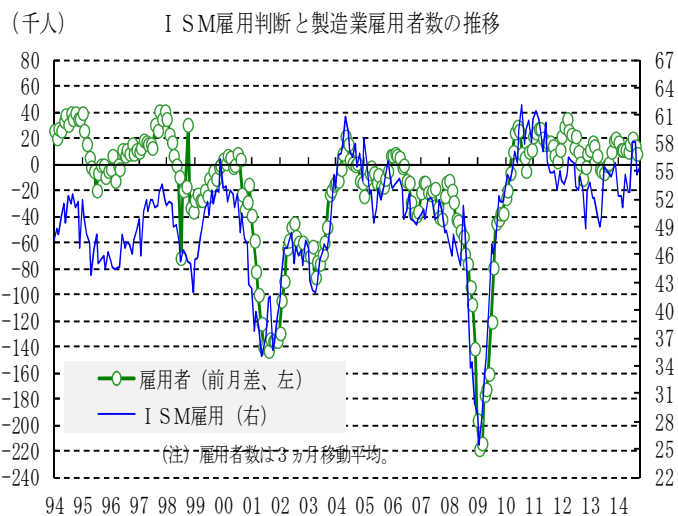
一方、輸入D Iは、10月に54.5と前月比+1.5%ポイント上昇した。輸入は米国内需要の拡大持続を背景に増加傾向を維持していることを示している。すなわち、先進国、新興国の米国向け輸出の増加を示唆しており、世界経済の拡大モメンタムを支えるとみられる。

雇用D Iは製造業雇用の増加ペースの小幅加速を示唆

雇用D Iは、10月に55.5と前月比+0.9%ポイント上昇し、製造業部門雇用者数（3ヵ月移動平均）の増加ペースの小幅加速を示唆している。ただし、激しい価格競争によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続く見込み。

仕入価格D Iは川中でのインフレ圧力が限定的であることを示す

仕入価格D Iは、エネルギーなどの価格下落によって、10月に53.5と前月比▲6.0%ポイント低下した。50を上回っているものの、インフレ統計との関係でみると水準が低く、川中でのインフレ圧力は限定的であることを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。